

日塗工 整理No.(日塗工記入)		2015-47		労働災害状況調査表					
発生会社 事業所									
災害発生日時		2015年 1月16日(金) 16時00分 天候(曇) 温度()℃湿度()%							
災害区分		☒ 不休災害 ☐ 休業災害 (休業:0日)							
被災者	部門	製造課充缶班		雇用形態	正社員、 <u>派遣</u> 契約、その他()				
	年齢	31歳	性別:	<u>男</u> 女	勤続年数 1ヶ月 経験年数 1ヶ月				
	傷病名	病名 (打撲裂傷)							
	傷病部位	右手人差し指第一関節～第二関節間、裂傷							
災害発生状況			状況概略(写真orイラスト)						
	1. ドラム充填後のパレット積み作業の最中、								
	2. 通路を塞ぐ形でパレットを置いて、 ドラムを積んでいた。								
	3. 奥の充填品を取りに来たフォークが通れる様、 パレット移動が必要になった。 (引取フォークリフトは別の運搬でその場を移動)								
	4. パレット移動する為、パレットからドラムを降ろした時に2本目のドラム缶と最初に降ろしたドラム缶との間で指を挟んだ。								
	災害の型※1) : 5 はさまれ					作業の形態: 定常、 <u>非定常</u> その他()			
	起因物: ドラム容器					特記事項: 派遣社員として入りたて			
	原因分類	1. 人的要因(man)				ドラムを移動するときの手の位置について指導されていなかった。 当人にとっては、咄嗟の出来事で、指を離すことができなかった。			
		2. 物に関する要因(machine)				当人はフォークリフトの資格がないので、自らパレット移動をしようとした。 フォークリフトによるパレットの移動を依頼しなかった。			
3. 環境要因(media)		石油缶充填を想定したライン上、ドラム充填作業を行うスペースが狭い。							
4. 管理的要因(management)		過去数回、ドラム缶操作で同様のはさまれ事例を起こしているが、 きちんとした指導手順がなかった。							
充缶班、ドラム運搬作業者を対象に演習を実施した。									
対策		ドラムポーター使用時の作業動線を考慮したパレット位置・ドラム缶の動かし方を実践演習。 ドラム缶を並べて置く時は、ドラム缶同士の間を空けて置く。ドラムが接する箇所に指などを置かない(来ない)ように(近接する側と)反対側から押す形で近づける。 ドラム充填を行う際、朝礼で都度、危険予知、パレット配置、積み込み動作の確認を行う。							
	対策分類※2): 1-1安全情報、1-2想定と対応、2-6学習伝承								

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)